

平成 13 年度

市内遺跡発掘調査報告書

2002.3

前橋市教育委員会

例　　言

- 本書は、平成13年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）の概要をまとめたものである。
- 本事業にかかる経費は、平成13年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助・県費補助及び市費によって計上された。
- 確認調査は、前橋市教育委員会文化財保護課 埋蔵文化財係が担当・実施した。

文化財保護課長 石川克博

埋蔵文化財係長 真塙欣一

調査担当者 高山剛、鈴木雅浩、内藤孝

- 確認調査にかかる記録類、出土遺物は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
- 本書中に使用している火山噴出物の指標は以下のとおりである。

A s - B (浅間Bテフラ) : 天仁元年(1108年)、浅間山噴火に伴い噴出

H r - F P (榛名二ツ岳伊香保テフラ) : 6世紀中葉、榛名山二ツ岳形成時に噴出

H r - F A (榛名二ツ岳渋川テフラ) : 6世紀初頭、榛名山二ツ岳形成時に噴出

A s - C (浅間Cテフラ) : 4世紀初頭、浅間山噴火に伴い噴出

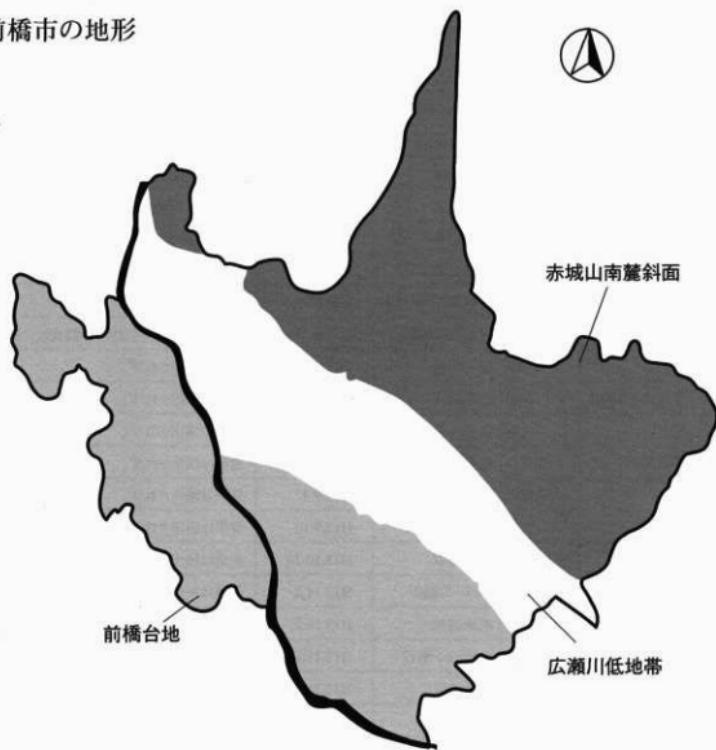
目　　次

例　　言

目　　次

1. 前橋の地形	1
2. 確認調査地一覧表	2
3. 確認調査位置図	3
4. 平成13年度確認調査の概要	3
5. 各確認調査の結果	4
6. 写真図版	16

1. 前橋市の地形



前橋市は、地形区分の上では「赤城山南麓斜面」、「前橋台地」、「広瀬川低地帯」に分類できる。

「赤城山南麓斜面」は、市の北～東部に位置し、南に緩傾斜する赤城山の裾野である。赤城山の山体崩壊によって形成された流山や中小河川によって形成された台地と谷地が多くみられる地域である。台地では古墳や集落跡が発見される可能性が高く、谷地では水田跡が発見される場合がある。

「前橋台地」は、市の西～南西部に位置し、広瀬川低地帯より一段高い台地状の地域である。北西端にあたる部分は榛名山東麓斜面との移行部であり、南東に緩傾斜している。台地面は詳しく見れば多少の起伏をもっているが、ほとんど平坦である。台地や微高地では古墳や集落跡が、低地では水田跡が発見されている。

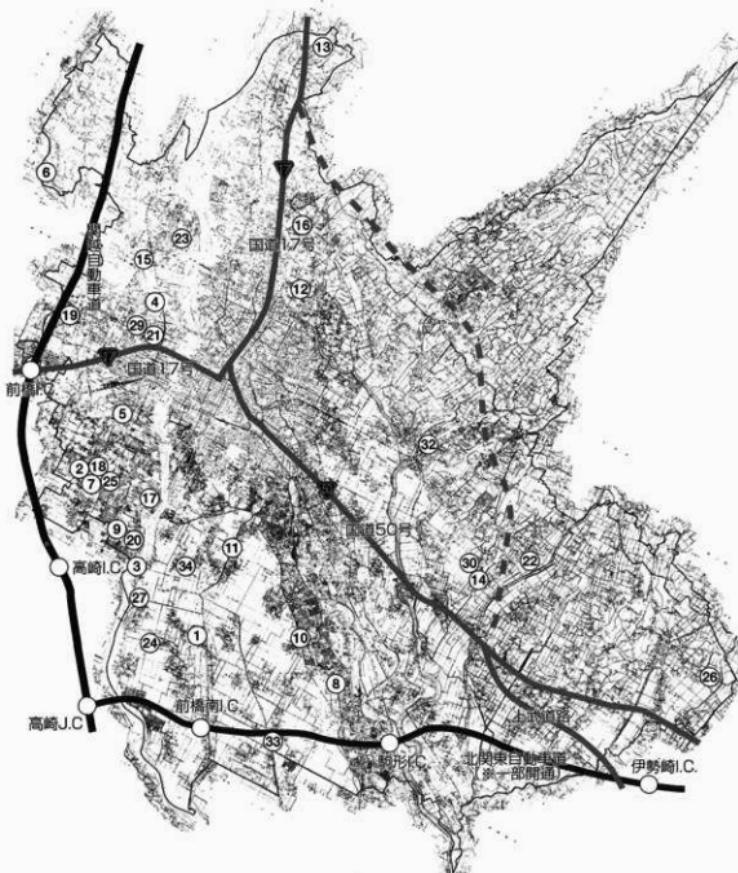
「広瀬川低地帯」は、市の北西部から南東部に帶状に位置し、赤城山南麓斜面の崖と前橋台地北東縁の崖に挟まれた一段低い地域であり、旧利根川の氾濫原である。低地帯の面を詳しく見ると必ずしも平坦ではなく、各所に自然堤防や微高地が存在する。この地域は遺跡が発見される可能性の低い地域とされてきたが、微高地に集落跡、低地に水田跡が発見される場合がある。

2. 確認調査地一覧表

[No.は試掘調査実施日順]

No.	所 在 地	開発面積(㎡)	開 発 原 因	調 査 日	試 掘 調 査 結 果
1	亀里町349-3	2,816	ドライブイン建設	H13.4.16	遺構は検出されず。
2	江田町字下り柳170番	1,600	宅地造成	H13.4.25	遺構は検出されず。
3	下新田町字町下543他	3,683	宅地造成	H13.5.9	遺構は検出されず。
4	大渡町二丁目2-1他	1,650	工場建設	H13.5.15	遺構は検出されず。
5	箱田町58他	2,988	宅地造成	H13.5.17	遺構は検出されず。
6	青梨子町字金古境1706-2他	500	店舗建設	H13.6.6	遺構は検出されず。
7	箱田町字古市前577-1他	462	店舗建設	H13.6.12	遺構は検出されず。
8	山王町135-1他	860	老人保健施設建設	H13.6.27	古墳時代の住居跡・中世遺構の基壇を検出(山王若宮Ⅲ遺跡)
9	下新田町331	2,995	宅地造成	H13.7.17	遺構は検出されず。
10	広瀬町二丁目10-4・10-11	240	宅地造成	H13.7.25	遺構は検出されず。
11	文京町四丁目422-4	129	宅地造成	H13.7.25	遺構は検出されず。
12	北代田町字薬師698-1	1,750	宅地造成	H13.8.2	遺構は検出されず。
13	田口町1054-1	2,602	老人ホーム建設	H13.9.4	遺構は検出されず。
14	富田町2407	210	宅地造成	H13.9.12	遺構は検出されず。
15	総社町総社2892-4	1,178	倉庫建設	H13.10.24	遺構は検出されず。
16	青柳町字新屋敷578	1,318	アパート建設	H13.11.2	遺構は検出されず。
17	上新田町字諏訪1192-1	1,897	宅地造成	H13.11.2	遺構は検出されず。
18	前箱田町字穂荷278-1	1,904	マンション建設	H13.11.13	遺構は検出されず。
19	元総社町字草作1320-1	2,338	宅地造成	H13.11.13	遺構は検出されず。
20	下新田町字中沖248-1他	777	アパート建設	H13.11.20	平安時代の水田跡を検出。(下新田中沖Ⅲ遺跡)
21	大友町二丁目2-4	1,065	マンション建設	H13.11.20	遺構は検出されず。
22	富田町字東原796-1他	3,594	寺院建設	H13.12.11	遺構は検出されず。
23	総社町総社字給人町屋敷1182-4	837	診療所建設	H13.12.10	遺構は検出されず。
24	公田町675-5他	4,141	店舗建設	H13.12.19	遺構は検出されず。
25	前箱田町字川曲340	1,896	宅地造成	H13.12.20	遺構は検出されず。
26	西大室町2377-10他	3,600	道路改良工事	H13.12.26	遺構は検出されず。
27	公田町1164-1他	813	老人福祉施設	H14.1.16	遺構は検出されず。
28	表町二丁目31-5	410	店舗建設	H14.1.22	遺構は検出されず。
29	大友町二丁目2-5	1,298	マンション建設	H14.1.24	遺構は検出されず。
30	江木町770-1	1,259	倉庫建設	H14.2.12	遺構は検出されず。
31	大手町三丁目13-2	681	庫裡建設	H14.3.7	遺構は検出されず。
32	上泉町1405-1	2,353	店舗建設	H14.2.14	遺構は検出されず。
33	力丸町74-75-1他	3,995	工場建設	H14.2.25	遺構は検出されず。
34	六供町508	518	宅地造成	H14.3.5	古墳時代の住居跡を検出。(六供下堂木Ⅳ遺跡)
	合 計	58,357			

3. 確認調査地位置図



4. 平成13年度確認調査の概要

本年度は、34件の埋蔵文化財確認調査依頼が提出され、市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）として確認調査を実施した。

確認調査の結果、3箇所で遺跡が発見された。そのうち、群馬県埋蔵文化財発掘調査基準に基づき保存可能な遺跡が2箇所、保存が困難なために残り1箇所については記録保存のための発掘調査を実施した。

5. 各確認調査の結果

1 亀里町349-3他

開発面積 2,816m² 開発原因 ドライブイン建設

調査日 平成13年4月16日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置し、500m北東を前橋台地の灌漑用水でもある端氣川が流れている。周辺には、約100m東に中世の宿阿内城跡、300m北西に中世の亀里環濠遺構群がある。さらに700m西には長瀬線バイパス工事に伴う調査で古墳時代から中世までの遺構が見つかっている。

調査の結果、現地表面から約70cm下で、As-Bを若干含む黒褐色土層を確認し、その下に黄褐色土をブロック状に含む黒褐色粘質土、Hr-FPを含む黒褐色粘質土と続いたがいずれの土層からも遺構・遺物は確認できなかった。



2 江田町字下り柳170

開発面積 1,600m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年4月25日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。開発予定地隣接地から平成11年度調査で平安時代の水田跡が確認（江田下り柳遺跡）されている。

調査の結果、現地表面から35cmの深さから厚さ10cmのAs-Bの純層を検出し、その下層で黒色粘土層を確認したが、水田跡と確定できる遺構は確認されなかった。



3 下新田町字町下543他10筆

開発面積 3,683m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年5月9日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。周辺部には北西200mに平安時代の水田跡が発見された下新田中沖I・II遺跡がある。

調査の結果、地表下約70cmからAs-Bが部分的に堆積しており、その下は黄褐色微砂層となる。後世の擾乱がひどく、遺構・遺物は検出されなかつた。



4 大渡町二丁目2-1他

開発面積 1,650m² 開発原因 工場建設

調査日 平成13年5月15日

調査の概要

本開発予定地は榛名山南東麓の澁川と利根川に挟まれた台地に位置する。予定地の東側500mに平安時代の住居跡が確認された稻荷塚道東遺跡が、500m南には中世の大友城が存在する。また開発予定地の隣接地からは平成12年度の試掘調査で古墳時代の住居跡が確認されている。

調査の結果、現地表下30cmでHr-FP混入の非常に堅い黒褐色細砂層が確認され、その下は暗褐色土が50cmの厚さで堆積していた。場所により擾乱が地表下1mまで及んでおり地層が破壊されていた。遺構・遺物は確認されなかった。



5 箱田町58他

開発面積 2,988m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年5月17日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。周辺地域は古代土地区画制度である「条里制」の残る地域である。周辺遺跡をみると約200m南西に平安時代の水田跡が発見された江田下り柳遺跡がある。

調査の結果、現地表面から30cm下でAs-B層を確認し、その下層から黒褐色粘質土・茶褐色粘質土と続く。しかしながら、畦畔（あぜ）等の水田跡と確定できる遺構は検出されなかった。



6 青梨子町字金古境1706-2他

開発面積 500m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成13年6月6日

調査の概要

本開発予定地は榛名山東南麓、八幡川左岸の台地上に位置する。開発予定地付近は、以前から縄文土器の散布地及び古墳の分布地とされている。昭和54年～昭和55年の調査で平安時代から近世に及ぶ遺跡地であることが判明している。

調査の結果、現地表下30cmでAs-Bを含む灰褐色細砂層、その下層にHr-FPを含む茶褐色粘質土を確認したが、遺構・遺物は検出されなかった。



7 箱田町字古市577-1他

開発面積 462m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成13年6月12日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置し、古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域である。南側を東西に走る道は条理の坪境畦畔（108m間隔のあぜみち）と想定され、約600m南西で平安時代の水田跡が発見された前箱田村西II遺跡がある。

調査の結果、現表面下60cmまではすでに埋土されておりその下層からAs-B混入の暗褐色細砂層・淡灰褐色細砂層を検出したが、水田耕作による畦畔等、確定できる遺構は検出されなかった。



8 山王町135-1他2筆

開発面積 860m² 開発原因 老人保健施設建築

調査日 平成13年6月27日

調査の概要

本開発予定地は旧利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地内には平成9年度、平成12年度の2度にわたり老人保健施設建設に伴う発掘調査を行っており古墳時代の住居と古墳の周囲が確認されている。

調査の結果、地表下60cmの深さから中世の遺構の基壇部分を確認し、さらに地表下70cmから古墳時代の住居跡を確認した。また基壇部分の下からも古墳時代の住居跡を確認した。平成13年7月より本発掘調査を開始した。（山王若宮III遺跡）



9 下新田町字中沖281-1・282

開発面積 2,955m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年7月17日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置し、古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域である。南側を東西に走る道は条理の坪境畦畔（108m間隔のあぜみち）と想定され、500m東側に平安時代の住居跡が確認された下新田遺跡があり、開発予定地の隣接地は平安時代の水田跡を検出した下新田中沖I・下新田中沖II遺跡がある。

調査の結果、現地表面から40~50cm下でAs-B層とその直下から黒褐色粘土層を確認した。しかし水田跡と確定できる畦畔等の遺構は検出されなかった。



10 広瀬町二丁目10-4・10-11

開発面積 240m² 開発原因 アパート建設

調査日 平成13年7月25日

調査の概要

本開発予定地は前橋台地の北東線、旧利根川に浸食されて形成された3～5mの高さを有する崖の上に位置する。周辺は県内でも有数の古墳分布地帯「広瀬古墳群」であり、昭和13年発行の「上毛古墳総覧」によると、この地域に154基の古墳が確認されている。しかし、戦中・戦後の開墾や宅地化によりその多くが未調査のまま平夷されてしまった。

調査の結果、1号トレンチの地表下40cmで数個の土器片を検出したが土器を検出した層が非常に縮まりがなく、その上層部の土層についても、耕作によりかなり攪拌されていた。1号トレンチの西側に2号トレンチを設定し掘削をしたが、土器片の検出はなく遺構も確認できなかった。



10 文京町四丁目422-4

開発面積 129m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年7月25日

調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。開発予定地の500m南には6世紀末に作られた二子山古墳があり、600m北西には中世に掘られた女溝がある。

調査の結果、地表下30cmで旧利根川の河原石を大量に検出したが、遺構・遺物は確認されなかった。



12 北代田町字薬師698-1他

開発面積 1,750m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年8月2日

調査の概要

本開発予定地は旧利根川左岸のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。広瀬川低地帯は、比較的遺跡の少ない地域とされているが、微高地や台地上には遺跡があり、低地でも中州には遺跡が確認されている。開発予定地の北西約1.4kmには青柳寄居遺跡があり、北西約1.2kmには西堀遺跡がある。

調査の結果、地表下40cmで旧利根川の流れ込みで堆積したと思われる直径2～20mmのHr-FPを多量に含む堆積層を検出したが、遺構・遺物は確認できなかった。



13 田口町1054-1他

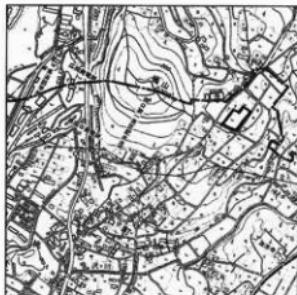
開発面積 2,602m² 開発原因 老人ホーム建設

調査日 平成13年9月4日

調査の概要

本開発予定地は前橋市と北橘村の境界に位置する橋山（標高228m）の南東斜面に位置する。周辺には北西150mの地点に縄文時代前期後半と中期中葉の土器片が大量に出土した瓜山遺跡Ⅱがある。

調査の結果、厚さ約30cmの現耕作土の下は明黄褐色細砂層（ソフトローム）となる。この面まで農耕機具の掘削痕が残っており、3本設定したトレーナーからは、いずれも遺構及び遺物は検出されなかった。



14 富田町2407

開発面積 210m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年9月12日

調査の概要

本開発予定地は赤城南麓斜面と呼ばれる裾野に属する傾斜地に位置し山麓に源を発する中小河川によって長い舌状台地を形成している地域である。台地部では住居跡を中心とした遺跡の分布地であり、谷地では水田跡が確認される場合がある。調査場所は平成6年度に農業構造改善事業に伴う確認調査を行った敷地内であり、縄文時代の土坑と近世の溝が確認されている。

調査の結果、現地表下約30cmでAs-Cを含む黄褐色細砂層及びその下の黄褐色微砂層（ソフトローム層）での2面で確認したが、遺構及び遺物は検出されなかった。



15 総社町2892-4他

開発面積 1,178m² 開発原因 倉庫建設

調査日 平成13年10月24日

調査の概要

本開発予定地は株名山南麓の八幡川の右岸に位置する。予定地の北側約30mの地点には大屋敷遺跡があり、平安時代の住居跡が検出されている。

調査の結果、現地表下2mまでは昭和40~50年代に調査地のすぐ脇を流れている八幡川の河川改修の際の盛土がなされていた。地表下2mまで掘削を行ったが、遺構及び遺物は発見されなかった。



16 青柳町字新屋敷578

開発面積 1,318m² 開発原因 アパート建設

調査日 平成13年11月2日

調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。広瀬川低地帯は比較的遺跡の少ない地域とされているが、微高地や台地上には遺跡があり、低地でも中州には遺跡が確認されている。約500m南には青柳宿前遺跡があり、平安時代の住居跡が検出されている。

調査の結果、設定した3ヶ所のトレンチからは、遺構・遺物は検出されなかった。



17 上新田町字諫訪1192-1

開発面積 1,897m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年11月2日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。周辺には南西2cmの地点に平安時代の水田跡が発見された下新田中沖・中沖Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、地表下40cmまでは埋土であったが、地表下90cmでAs-Bが堆積している層を検出した。その直下は黒褐色粘質土となった。水田跡の可能性があるため、土層断面を観察したが、畦畔等の遺構は確認できなかった。



18 前箱田町字稻荷278-1他

開発面積 1,904m² 開発原因 マンション建設

調査日 平成13年11月13日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。開発予定地の200m南側に箱田中学校は平安時代の水田跡が発見された前箱田遺跡である。

調査の結果、地表下20cmまでは埋土で、その下にAs-Bが混入した暗褐色土層があり、その下に厚さ4cm程度のAs-Bが部分的に残っていた。

しかし、地表下50~60cmあたりまで、ビニール等が検出されており、擾乱を受けたことが確認できた。土層断面を観察したが、水田耕作による畦畔(あぜ)等は確認できなかった。



19 元総社町字草作1320-1他

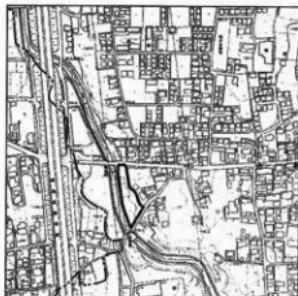
開発面積 2,338m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年11月13日

調査の概要

本開発予定地は様名山東南麓の染谷川の左岸河川敷に位置する。このあたりは上野国府の推定地で、東側には中世の蒼海城跡・推定国府跡の御靈神社・宮鍋神社がある。

調査の結果、第1トレンチでは地表下55cmまでは埋土であり、その下の層はHr-FPが極微量に混入していた暗黄褐色微砂層であった。その下は厚さ45cmの暗灰褐色微砂層となる。地表下50~170cmは流水による水性堆積層であった。トレンチは6本設定し土層断面を観察したが同様の堆積状況で、いずれのトレンチからも、遺構・遺物は検出されなかった。



20 下新田町字中沖248-1・263-1

開発面積 777m² 開発原因 アパート建設

調査日 平成13年11月20日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置し、平成10年度に発掘調査を実施した下新田中沖Ⅱ遺跡の調査区内の未調査区部分である。

調査は建物部分に東西方向に2本のトレンチを入れ実施した。その結果、1号トレンチ西端部から東へ約9mの地点と、12mの地点からAs-B純層の下より咲町を検出し、平安時代の水田跡が確認された。

これにより本開発予定地が遺跡地であることが判明したが、工事計画上、遺構面までの保護層が確保できるため現状保存された。
(下新田中沖Ⅲ遺跡)



21 大友町二丁目2-4

開発面積 1,065m² 開発原因 マンション建設

調査日 平成13年11月20日

調査の概要

本開発予定地は様名山南麓の流川の右岸に位置する。周辺部は開発予定地の西側を南流する牛池川周辺を中心に中世の蒼海城跡・推定国府の御靈神社をはじめ、遺跡が集中している総社地区が隣接する場所である。

調査の結果、地表下80cmまでは埋土となっており、その下から乳白色シルト層（厚さ約10cm）・灰暗褐色粘質土層（厚さ約20cm）を検出したが、遺構及び遺物は確認されなかった。



22 富田町字東原796-1・800-1

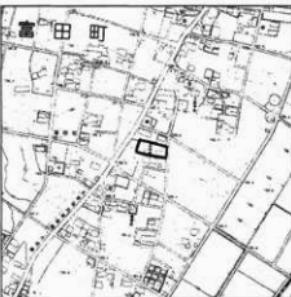
開発面積 3,594m² 開発原因 寺院建設

調査日 平成13年12月11日

調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面と呼ばれる裾野に属する傾斜地に位置し、山麓に源を発する中小河川によって南北に長い舌状台地と谷地を形成している地域である。台地部では住居跡を中心とした遺跡の濃密分布地であり、谷地では水田跡が確認されている。周辺では上武道路建設に伴い数ヵ所で発掘調査が行われ、多くの遺構が検出されている。

調査の結果、調査地西側で現地表面より70cm、東側は50cm前後盛土されており、その下は、暗黄褐色細砂層が平均して厚さ30cm堆積し、さらにその下は明黄褐色微砂層（ハードローム）となった。トレンチからは遺物は検出されず、遺構も確認できなかった。



23 総社町総社字給人町屋敷1182-41他

開発面積 837m² 開発原因 診療所兼住宅建設

調査日 平成13年12月10日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の200m北西には遠見山古墳がある。また約600m西側に宝塔山古墳・蛇穴山古墳・推定国府跡の御靈神社など重要な文化財が集中している。

調査の結果、トレンチ南端部より北側5.3mの地点で古墳の石室の根石と推定される石積みを検出した。またトレンチ南端部から幅1.6mの周堀を検出した。しかし、検出した石積みの上の部分はすでに削平されており残っていなかった。トレンチからは遺物も検出できなかった。



24 公田町675-5他

開発面積 4,141m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成13年12月19日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置する。700m東には利根川が南流し、1.5km東側には前橋台地の灌漑用水である端氣川が流れている。調査地の東脇を通る長瀬線バイパス工事に伴う調査で、古墳時代から中世にかけての遺構が発見されている。

調査の結果、地表面から約1.5mまでは埋土で、その下に厚さ約10cmの黒褐色細砂層、更にその下に厚さ約10cmのAs-B純層が確認できた。B下は黒褐色粘土となる。水田跡の可能性もあったが、畦畔などは確認できなかった。



25 前箱田町字川曲340他

開発面積 1,896m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成13年12月20日

調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。開発予定地の北側200mの地点の箱田中学校は平安時代の水田跡が発見された前箱田遺跡があり、水田跡の可能性が考えられたため試掘調査を実施した。

調査の結果、現地表面から55cmまでは表土・耕作土で、その下に厚さ3cmのAs-Bが混入した暗褐色土層があり、その下は灰褐色粘質土となる。水田耕作跡の痕跡を土層断面から観察したが、確認できるような遺構は認められなかった。



26 西大室町2377-10他

開発面積 3,600m² 開発原因 道路改良工事

調査日 平成13年12月26日

調査の概要

本開発予定地は赤城山の山体崩壊によってつくられた丘陵性台地に位置する。開発予定地の北西では大室公園整備事業に伴う発掘調査で古墳時代の住居跡や古墳が発見された内堀遺跡群がある。また東側には豪族の居館跡が確認された梅木遺跡があり、谷地では水田跡が検出されている。

調査の結果、道路予定地北側のトレンチでは現地表下約30cmで耕作土と砂層が混入し始め、45cm下で水性堆積と思われる砂層となった。南側では現地表下約50cmでソフトロームとなる。水田耕作の可能性もあり、土層断面の精査並びに平面の確認をしたところ、3・4トレンチにおいて住居跡の一部分を検出したが、開発予定地内の全般的な削平及び擾乱が著しく、遺構の広がりを記録するにどまつた。



27 公田町1164-1他

開発面積 813m² 開発原因 老人福祉施設建

調査日 平成14年1月16日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地上に位置する。100m西側に利根川が南流し、2km東側には前橋台地の灌漑用水である端氣川が流れている。周辺には長滝線バイパス工事に伴う調査で古墳時代から中世までの遺構が発見されている。

調査の結果、現地表面下1mの深さからAs-Bが厚さ6cmほど堆積していた。その直上に黒褐色粘質土、直下には灰褐色粘質土がそれぞれ5cm程の厚さで堆積していた。黒褐色粘質土の上は土地改良の際に運び込まれた黄褐色微砂となる。3本トレンチを設定したが同様の土層堆積状況で、灰褐色粘質土まで掘削をしたが、遺構・遺物は確認されなかった。



28 表町二丁目31-5・31-17

開発面積 410.63m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成14年1月22日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地で、市街地の南約1kmに位置する。周辺には1.5km南に六供下堂木遺跡や六供東京安寺遺跡など古墳～平安時代にかけての住居跡や水田跡が確認されている。

調査の結果、地表下45cmまでは現状の駐車場のバラスや埋土で、その下も厚さ65cmの灰青色の埋土だった。その下にAs-Bを含む灰褐色土層、As-B純層がそれぞれ10cmの厚さで堆積しており、厚さ20cmの黒褐色粘質土となる。水田跡の可能性があるため土層断面を観察したが、遺構及び遺物は検出されなかった。



29 大友町二丁目2-5

開発面積 1,298m² 開発原因 マンション建設

調査日 平成14年1月24日

調査の概要

本開発予定地は榛名山南麓の滻川の右岸に位置する。周辺には開発予定地西側の牛池川周辺を中心に中世の蒼海城跡・推定国府跡の御塗神社をはじめ、遺跡が集中する縄社地区がある。

調査の結果、地表下約50cmまでは埋土であった。その下に厚さ8cmの灰褐色砂層、厚さ10cmのAs-Bを含む黄褐色細砂層を検出した。B鉛石を取り除き観察をしたが、遺構・遺物は検出されなかった。



30 江木町770-1

開発面積 1,259m² 開発原因 倉庫建設

調査日 平成14年2月12日

調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面に位置し、山麓に源を発する中小河川によって南北に長い舌状台地と谷地を形成している。開発予定地の東側約300mの地点に縄文時代の住居跡が確認された木舟遺跡がある。

調査の結果、現地表下30cmは表土・耕作土で、その下は厚さ75cmの埋土であった。その下に厚さ15cmの黄褐色粘質土が堆積し、埋土と黄褐色粘質土の境から地下水が大量に湧き出る状況であった。トレーン平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は検出されなかった。



31 大手町三丁目13-2

開発面積 681m² 開発原因 廉價建設

調査日 平成14年3月7日

調査の概要

本開発予定地は利根川左岸に位置し、前橋公園に隣接する東照宮の境内である。ここは旧前橋城の本丸の北側であり、県庁庁舎や前橋地方裁判所の建設の際の調査で前橋城関連の遺構・遺物が検出されている。

調査の結果、現地表下45cmは現状の駐車場の舗装やパラスであり、地表下75cmで地山を確認した。しかし、後世の擾乱がひどく土層はすでに破壊されており、遺構、遺物は発見されなかった。なお、今回の調査結果を踏まえ、現段階で建物がある部分については建物撤去時に立合調査を行う予定である。



32 上泉町1405-1

開発面積 2,353m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成14年2月14日

調査の概要

本開発予定地は桃ノ木川左岸の台地に位置する。周辺部には開発予定地の北側約200mの地点に縄文時代の住居跡が確認された上泉太郎三前遺跡が存在する。

調査の結果、現駐車場のアスファルトが厚さ約10cmほどあり、その下は2.7mほどの盛土となる。盛土直下は厚さ20cmの暗褐色粘質土、厚さ5cmのAs-B混じりの暗褐色微砂層、厚さ10cmの暗褐色粘質土と続く。トレチ平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は検出されなかった。



33 力丸町74・75-1

開発面積 3,995m² 開発原因 店舗建設

調査日 平成14年2月25日

調査の概要

本開発予定地は前橋台地の東縁の広瀬・朝倉古墳群から南へ2kmの位置にあり、古代の土地区分制度である「条里制」の残る地域である。周辺には約300m北に古墳時代の方形周溝墓や住居跡・水田跡、奈良・平安時代の住居跡・水田跡が発見された西善尺司遺跡があり、北西・南東隅には中世の環濠居跡である越丸東環濠遺構がある。

調査の結果、現地表は厚さ85cmほど盛土されており、その下に黒褐色粘質土(As-Cを含む)、灰暗褐色粘質土、灰白色シルト層、灰褐色砂土の順で堆積していた。トレチ断面及び平面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。



34 六供町508

開発面積 517m² 開発原因 宅地造成

調査日 平成14年3月5日

調査の概要

本開發予定地は前橋市街地から南に約1.5kmに位置する。開發予定地の西隣は、平成10年度の調査で奈良・平安時代の住居跡が発見された六供下堂木V遺跡がある。

調査の結果、地表下50cm～70cmの間の黒褐色微砂層に古墳時代前期のものとみられる土器片を數十点検出し、トレンチ平面・断面を観察したところ、古墳時代の住居跡を確認した。

これにより、本開發予定地が遺跡地であることが判明したが、工事計画上遺構面までの保護層が確保できるため、現状保存された。
(六供下堂木VI遺跡)





1. 龟里町



5. 猪田町



2. 江田町



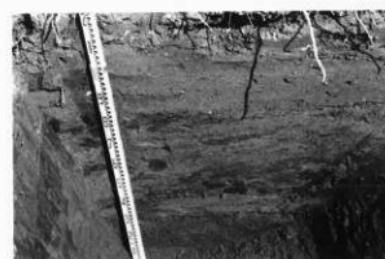
6. 青梨子町



3. 下新田町



7. 猪田町



4. 大波町



8. 山王町



9. 下新田町



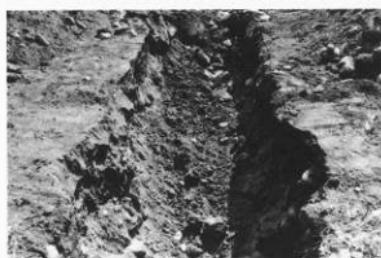
13. 田口町



10. 広瀬町



14. 蓮田町



11. 文京町



15. 桜柱町鶴社



12. 北代田町



16. 青梅町



17. 上新田町



21. 大友町



18. 前橋田町



22. 富田町



19. 光能社町



23. 越杜町總社



20. 下新田町



24. 公田町



25. 前畠田町



29. 大友町



26. 西大室町



30. 江木町



27. 公田町



31. 大町



28. 岩町



32. 上条町



33. 力丸町



34. 六俄町

平成13年度 市内遺跡発掘調査報告書

平成14年3月16日印刷
平成14年3月25日発行

発 行 前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目10-2
☎027-231-9531
